



ほんなこて**ゆたたり**

文責 校長 平井 敏博

【令和6年度学校教育目標】
大人も子どもも、目指すは“とことん学び続け、とことん学び合う人”
～生涯学びの基礎づくり～

2学期始業式の様子に、期待感増大！ ～「言われなくてもできる!」そこがポイント～

真っ先に体育館に行って、子ども達を待っていました。最初に4年生がおしゃべりは一言もなく入場し、整列して座りました。続いて3年生、1年生と落ちて入場し、整列し座って待ちました。その後の学年もシーンとした体育館の雰囲気壊すことなく、入場を終えました。

「びっ——くいました！これまでの最高でした！！」と誉めたところです。

2学期も、自分たちでできることをどんどん増やしてほしいと思います。

2学期のふりかえり ～高学年が進める地区児童会～



始業式後に、各地区に分かれて、地区児童会が開かれました。高学年が進行していきます。2学期のふりかえりを、メンバーの挙手で確認しながら進めます。

自転車の乗り方や川遊びについて、地域からの連絡が複数入り、職員が現地に outward, so-called guidance etc. also had. Main body active danger avoidance, safety awareness action was the topic came out. On the one hand, this is so “hikkya de yote” da tomo omowaremasu. In the future, please do your best.

“学びの土台” づくり

～やり方がわかって、自分たちでやる～



1年生の教室です。ロッカーのランドセルの入れ方も、上手になりました。テストや復習のプリントにチャレンジする時、その学級オリジナルの“テスト机”というものがあります。友達の解答が目に入らないように、机の間隔を広くします。その後、各人、自分の力で解いていきます。

1年生の“テスト机”は、真ん中の列で、運動場側と廊下側が背中合わせになる方式です。テストやプリントチャレンジの時には、サッと自分の机を動かして、プリントの配布を待ちます。自分たちでしっかりできています。

やり方（活動の仕方）を分かりやすく提示し、子ども達が自分のできることをしっかりやれるような環境づくりをすることが、学校での“学びの基盤づくり”と言えます。

チーム多良小の新しいメンバー

～特別支援教育支援員として

先生～

8月1日より、多良小学校職員の新しい仲間として、先生が加わりました。主に3階フロアーの子ども達（5年生、6年生）に関わってもらいます。なにとぞ、よろしくお願いいたします。

先生より

太良町で生まれ育ち、この町が大好きなです。だいぶ根を張って生きています。ここで出逢えた人達と、良い時間・素敵な経験ができれば最高だ！！と思っています。

多良小学校の皆さん、温かく迎えてくださり、ありがとうございます。パワーある限り元気にがんばりますので、よろしくお願いします。